

【第三種郵便物認可】

キラ星

三重発

細胞と共に人間の体を構成する細胞外基質。その成分でコラーゲンに次ぐ主要なたんぱく質である「エラスチン」は、これまで美容・健康分野であまり活用されてこなかった。三重大学発ベンチャーの細胞外基質研究所(津市)はエラスチンを利用した美容液や健康ドリンクを開発した。

コラーゲンが生体組織の硬さを担うのに対し、伸縮性を担うのがエラスチンだ。皮膚の弾力性を保つのに不可欠だが、加齢とともに減少する。細胞外基質の中ではヒアルロン酸より多

細胞外基質研究所 タンパク質新素材の美容液

《会社概要》

- ▽本社 社長 津市南が丘3の23の10 宮本啓一氏
- ▽社 上 高 2500万円
- ▽売 上 (2013年3月期見込み)
- ▽従業員 2人
- ▽事業内容 エラスチンを使った医療用試薬や美容液などの開発・製造

大学発、医療研究の技術で

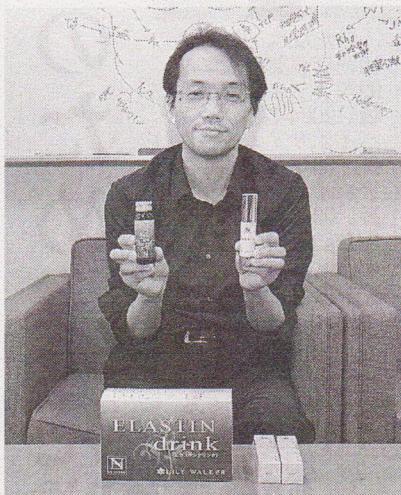
いが、材料化が難しいことなどからそれほど一般的ではなかった。

部が主な顧客だ。エラスチンの上でヒトの細胞を培養したり、反応を調べたりするのに使用する。研究用のため高い純度

が求められる。こうした技術を生かし、今年1月にドリンク剤を発売。3月から、大手は関心を示さなかった(宮本社長)。20

05年に自ら起業した。製造には豚の血管を原料に使う。煮てコラーゲンを除き、クエン酸などで分解。中空糸膜でエラスチンだけを抽出し、乾燥させ粉末にする。研究の過程で「皮膚への効果が分かってきたため、化粧品への応用を考え」(宮本社長)という。

に良い効果が期待できるという。モニター調査では「肌がなめらかになった」などの感想が得られた。一方、分子が最も大きい「エラスチンA」は、血管で動脈硬化を引き起こすコラーゲンの生成を抑える効果があるため、ドリンク剤に活用した。価格は美容液が20ミリリットル入りで8925円、ドリンクは50ミリリットル入りで1本313円。通販が中心で、初年度2000万円の売り上げを目指す。



エラスチンドリンクとエラスチン美容液を手にする宮本社長

同社は人工皮膚など再生医療分野向けにエラスチンの研究用試薬を開発し、販売してきた。粉末やシート状など用途に合わせて様々な種類がある。大学の医学

は美容液の販売を始めた。20

学院工学研究科の宮本啓一准教授は当初、大手企業との共同研究を目指した。しかし、「エラスチンの知名度が低く、製造技術もまだ確立されていなかったため、大手は関心を示さなかった(宮本社長)。

6月下旬にも美容液を0

・5ミリリットルに小分けした10回分のお試しセットを発売する。今後は「エラスチンに特化したスキンケア商品を」と判断してそれを生成するという。

中小・ベンチャー

津支局長 横田勇人